

③将軍への拝謁、産品献上等に関する資料



大谷九右衛門勝実による将軍への拝謁の記録

竹島渡海由来記抜書控

作成年代不詳

資料概要

竹島渡海由来記抜書控は、大谷家が渡海の経緯を後年まとめた記録(※1)で、二代目の九右衛門勝実が御目見(将軍への拝謁)と献上を行ったことについて書かれている。御目見は、1671年(寛文11年)をはじめ何度も行われたが、記録が焼失しているものもあると記載されている。村川家が御目見を行ったことについても言及されている。

また、1671年の御目見の際、幕府の役人に産品を献上した際の相手方、内容について記録がある。文中に「竹嶋」とあるのは鬱陵島のこと。

※1 大谷文子氏は、大谷九右衛門勝実が文政の頃に書き写したものと考えられるとする。(→No.1)

内容見本

二代目 九右衛門勝実

勝実幼名惣助於江府九右衛門と改号及老年隠居シ瀬兵衛と改此惣助若年之時父勝宗為名代江府江詰前記如ク首尾能御目見仕其後数度 御目見仕則参府度毎記録有之処焼失尤寛文十一年亥五月廿八日

御目見仕并ニ延宝七年未七月参府其翌八月

御目見仕右両度分献上之品并ニ御役人様勤門控左之通書頭

猶延宝九年酉七月村川市兵衛参府之節御達書ニも顕然たり

寛文十一年亥五月廿八日

御目見仕御勤門左之通

御公方様江献上箱肴 但例之通竹嶋鮑五百貝一折

酒井雅楽守(ママ)様

同 河内守様

阿倍豊後守様

稲葉美濃守様

久世大和守様

土屋但馬守様

板倉内膳守(ママ)様

右御七人様江竹嶋鮑五百貝入一折宛

(略)

現代語訳

二代九右衛門勝実

勝実は幼名を惣助という。江戸で九右衛門を襲名、老いては隠居し瀬兵衛と改名した。この惣助は若い時に父勝宗の名代として江戸に滞在し、前記のように首尾よく御目見をこなし、その後も数回御目見にあずかっており、参府のたびの記録もあったが、焼失してしまった。ただし、寛文十一年(1671年)亥の五月二十八日の御目見および延宝七年(1679年)未の七月参府し翌八月に行われた御目見(※2)、この両度分の献上品と御役人様方へ差し上げた品の控えは、次に書き表すとおりである。なお、延宝九年酉の七月村川市兵衛が参府した時、頂いた御達書によってもはっきりとしていることである。

寛文十一年亥の五月二十八日御目見の時に差し上げた品々は左の通りである

御公方様へ献上箱肴 但し 例の通り竹嶋鮑五百貝一折

酒井雅楽守(頭)様

同 河内守様

阿倍(部)豊後守様

稲葉美濃守様

久世大和守様

土屋但馬守様

板倉内膳守(正)様

右御七人様へ竹嶋鮑五百貝入一折宛

(以下略)

※2 延宝七年(1679年)の参府、御目見については、実際には三代目の勝信が代理で行った。

作成年月日	作成年代不詳
編著者	-
発行者	-
収録誌	-(大谷家文書1-3)
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	無
所蔵機関	島根県竹島資料室
利用方法	島根県竹島資料室に問い合わせを行う

二代目 土佐藩 勝實

勝實、初名、忠、江府、為政、と改め、寛文十一年、土佐藩に、頼重、改
 名、忠、と改め、土佐藩、為政、江府、藩主、忠、自、元、江、土、目、之、仕
 主、は、故、及、土、目、見、は、則、土、府、及、海、津、津、之、延、徳、大、元

寛文十一年、五月、十九日

土、目、之、仕、主、延、徳、七、年、末、七、月、土、府、主、忠、八、月

土、目、見、は、初、及、分、初、主、忠、之、延、徳、初、門、控、主、忠、之、延

本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。

備後守九年酉七月村川市常務府長河延書以歌純多り

寛文十一年亥九月廿八日

河内見往初河内門戸通

河内方様江獻上箱者

但
別色所所範
五百員一折

酒井雅常守様

河内守様

河内豊後守様



本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。

大正十一年一月一日
竹島砲台入所記

小笠原山城守様

戸田伊勢守様

中多長門守様

大正十一年一月一日
竹島砲台入所記

大正十一年一月一日
竹島砲台入所記

大正十一年一月一日
竹島砲台入所記

③将軍への拝謁、産品献上等に関する資料



大谷家による幕府幹部への産品献上の記録

覚（御目見に際し幕閣への干しアワビ進上の控え）

1671年（寛文11年）5月15日

資料概要

1671年（寛文11年）の御目見の際に干し竹島（鬱陵島）アワビを贈った相手先の記録。相手により、500個入、300個入などがあったことが分かる。

大谷、村川は、数年に一度、将軍に拝謁し（御目見）、幕府の幹部などにアワビを贈っていた。

このほか、江戸城西の丸普請に際し書院の床板や書棚板を納めたこと、桐材、大竹などの産品の注文を受けることもあった。

内容見本

覚

酒井雅楽頭様
同 河内守様
阿部豊後守様
稲葉美濃守様
久世大和守様
土屋但馬守様
板倉内膳正様

右御七人様五百入壺箱宛

若御老中 土井能登守様
堀田備中守様

遠国御奉行 小笠原山城守様
戸田伊賀守様
本多長門守様

右御五人三百入壺箱宛

雅楽頭様御家老
関主税殿

大和守様御家老

亀井清左衛門殿

板倉内膳正様御家老

池田新兵衛殿

鈴木兵右衛門殿

河内守様御家老

大河内勘兵衛殿

右之御家来衆へ者何そ

寸志持参可被申候

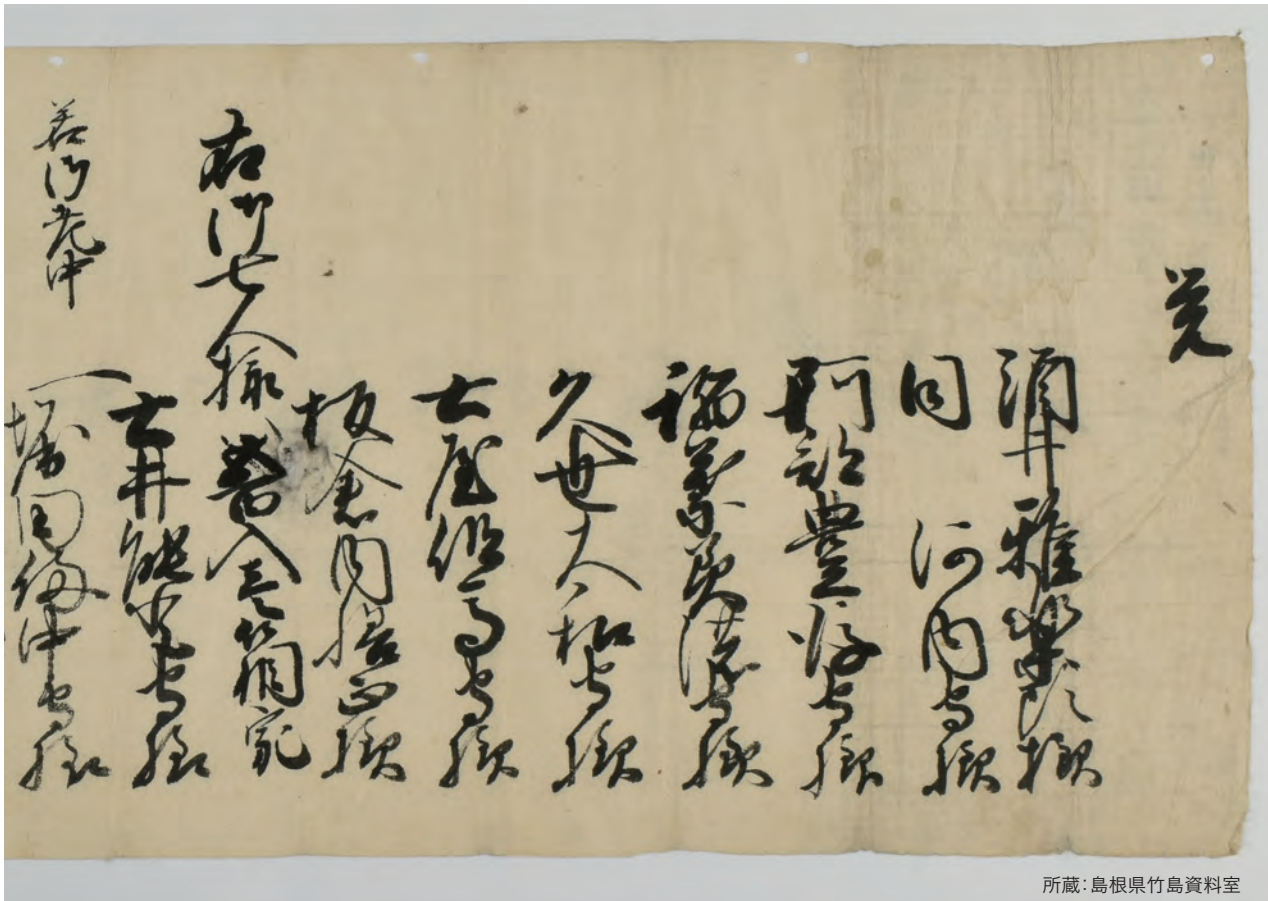
亥ノ五月十五日

寛文拾壹年五月廿八日

御目見申上候

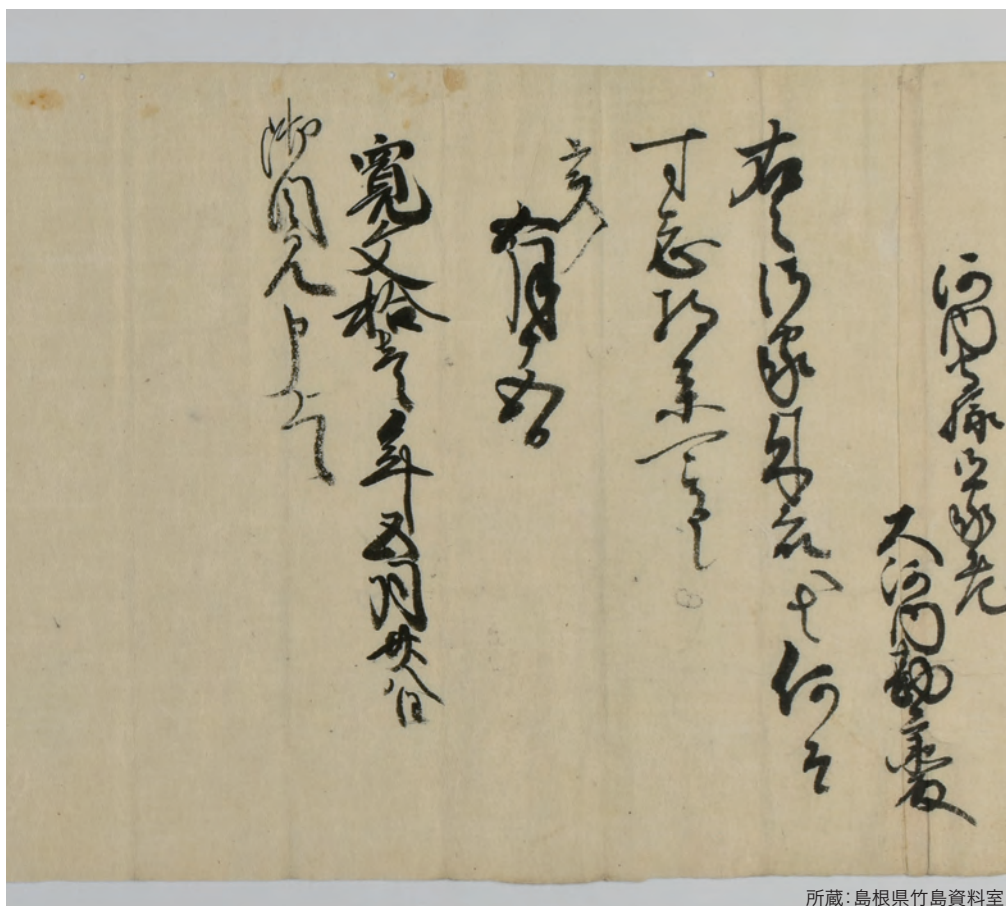
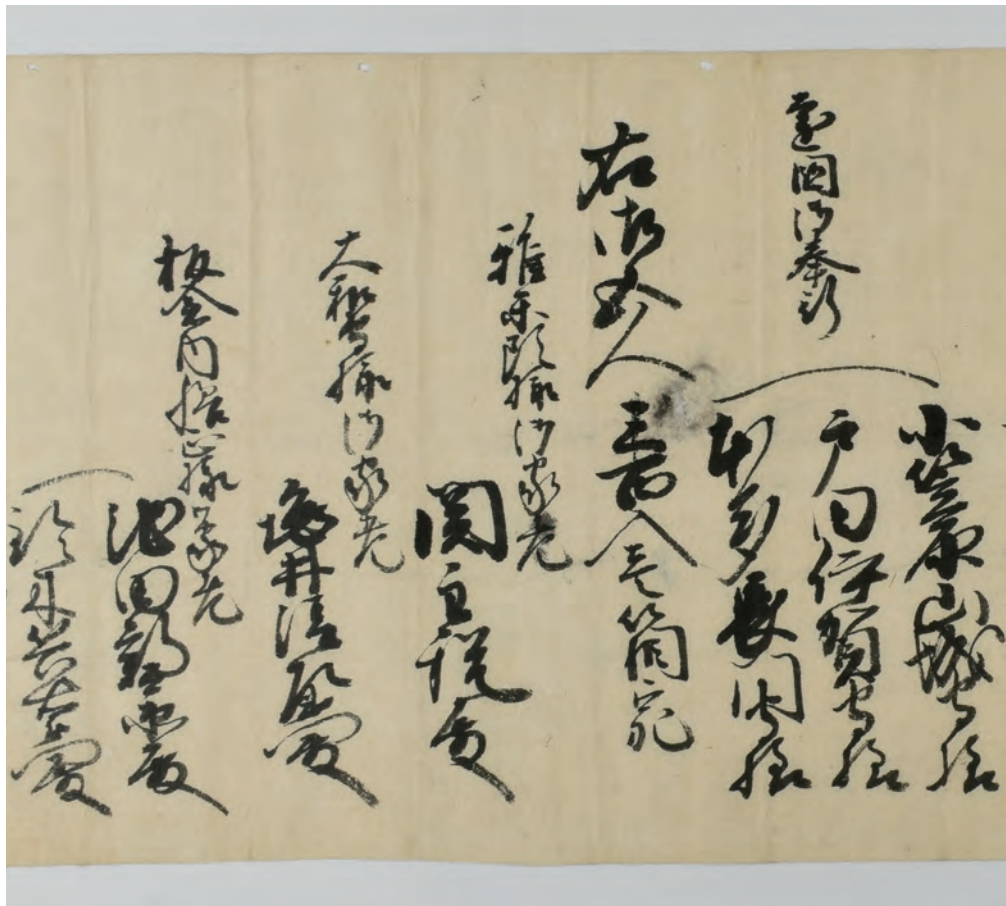
作成年月日	1671年（寛文11年）5月15日
編著者	-
発行者	-
収録誌	-(大谷家文書1-14)
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	無
所蔵機関	島根県竹島資料室
利用方法	島根県竹島資料室に問い合わせを行う

本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。



所蔵：島根県竹島資料室

本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。



③将軍への拝謁、産品献上等に関する資料



大谷家による幕府幹部への産品献上の記録

御進上串鮑之目録

1679年(延宝7年)

資料概要

大谷家三代目の九右衛門勝信が、1679年(延宝7年)8月に幕府の幹部に産品を献上した内容の記録。串アワビについては、その数量が300入、500入、700入などと記載がある。

なお、この資料に見える阿倍(部)四郎五郎は、万治3年(1660年)に没した阿倍四郎五郎正継の後を継いだ末弟の正重である。権八郎と名のり、四郎五郎を襲名し四郎五郎正重、または権八郎正重と名乗った。

内容見本

御進上串鮑之目録

一	御公方様江	五百入
一	酒井雅楽頭様江	五百入
一	酒井河内守様江	五百入
一	稲葉美濃守様江	五百入
一	大久保加賀守様江	五百入
一	土井能登守様江	五百入
一	堀田備中守様江	五百入
	右ハ御老中様	
一	松平因幡守様江	三百入
一	石川美作守様江	三百入
	此御兩人様若年寄衆	
一	板倉石見守様江	三百入
一	松平山城守様江	三百入
	此御兩人様寺社御奉行衆	
	(略)	
一	阿部四郎五郎様江	七百入
	(略)	

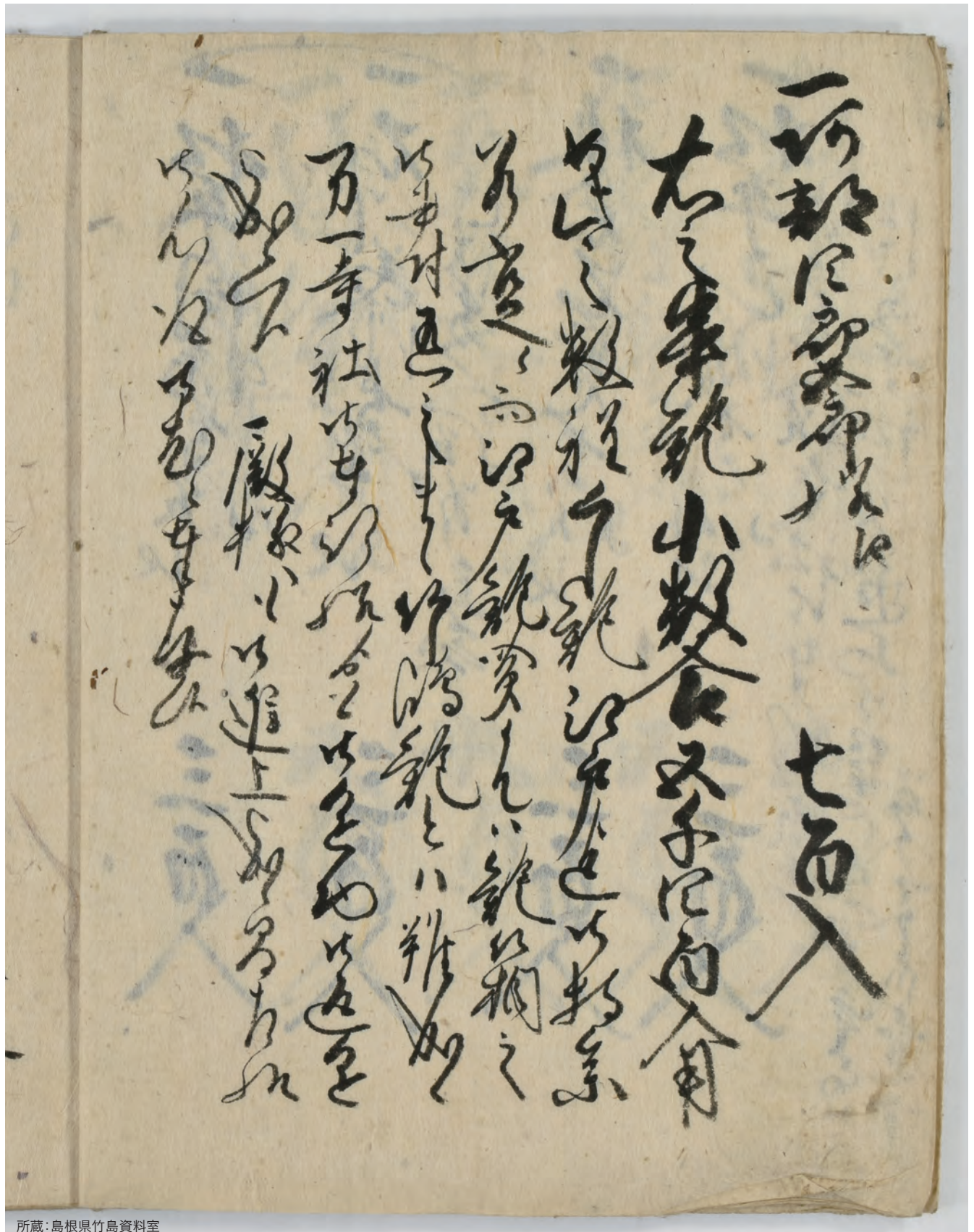
作成年月日	1679年(延宝7年)
編著者	-
発行者	-
収録誌	延宝七曆未八月吉祥日 江戸御進上覚帳 (大谷家文書1-15)
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	無
所蔵機関	島根県竹島資料室
利用方法	島根県竹島資料室に問い合わせを行う

本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。









③将軍への拝謁、産品献上等に関する資料



鳥取藩がアワビを買上げていたことが分かる資料

未ノ年 竹嶋松嶋串鮑丸干鮑目録之扣

年代不詳

資料概要

大谷家に残る、鳥取藩による竹島（現在の鬱陵島）松島（現在の竹島）鮑買い上げの記録。

「上々串鮑」、「きくらけ」まで産品の量と対価が書き込まれている。総額（銀で支払い）も記され、「2貫746匁5厘」となっている。鳥取藩は、資金を貸し付け、その返済を産品を買い付けることで相殺していたこともあった。

内容見本

未ノ年

竹嶋松嶋串鮑丸干鮑目録之控

（略）

代銭惣合 貳貫七百四匁六分五厘

右御三殿様へ上り候控也

現代語訳

未の年

竹島と松島の串鮑・丸干鮑の目録の控え

（略）

すべての代銭は合わせて 二貫七百四匁六分五厘

右は三殿様（※1）へお渡しした控えである

※1 三殿様は、大殿様、殿様、沓州様（池田沓岐守、池田光仲の第2子。1685年から鳥取新田藩の藩主になる。）

作成年月日	年代不詳
編著者	-
発行者	-
収録誌	-(大谷家文書1-17)
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	無
所蔵機関	島根県竹島資料室
利用方法	島根県竹島資料室に問い合わせを行う

本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。

未^年
竹崎松壽串蛇丸ヲ蛇同録し和
一幸々々串蛇丸三連 但公事物を是ニ付
代ハ右モナク下
一幸々々串蛇丸三連 但公事物を是ニ付
代ハ右同下
一幸々々串蛇丸八連 但公事物を是ニ付
代ハ右モナク下
一中串蛇丸二粒連 但公事物を是ニ付
代ハ右モナク下
一下串蛇丸三粒連 但公事物を是ニ付
代ハ右モナク下
一上串蛇丸五粒連 但公事物を是ニ付
代ハ右モナク下
一上串蛇丸七粒連 但公事物を是ニ付
代ハ右モナク下

[illegible]

③将軍への拝謁、産品献上等に関する資料



鳥取藩が竹島産アワビを将軍に献上したことがわかる記録

元禄八年 御在江戸日記 亥七月朔日より十二月廿九日迄

1695年(元禄8年)9月21日

資料概要

鳥取藩の記録で、1695年(元禄8年)9月21日に、鳥取藩が竹島で採取したアワビを丸干しにしたと考えらえるもの(松島円干鮑)を、精進除の御肴として(※1)、将軍に献上したことがわかる。

※1 祖先の忌日など精進をすべき日が精進日で、翌日に精進除として献上した。毎月17日(家康)、20日(家光)、24日(秀忠)、8日(家綱)が精進日で、翌日が精進明け。松島丸干鮑の献上は元禄8年9月21日であり、この当時将軍であった綱吉からすると先々代の家光の月命日の精進除けとなる。(大嶋陽一(2013年1月19日) 鳥取地域史研究会例会報告「鳥取藩の贈答品『竹島鮑』」を参考)

内容見本

一 今朝御精進除之御肴ニ松島円干鮑今日初而御献上之御奉書到来御請如例

現代語訳

一 今朝ご精進除の御肴として松島円干鮑(丸干し鮑)を今日初めて献上された旨の知らせが来た。いつもの通り返事をした。

作成年月日	1695年(元禄8年)9月21日
編著者	鳥取藩
発行者	-
収録誌	元禄八年 御在江戸日記 亥七月朔日より十二月二十九日迄
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	有
所蔵機関	鳥取県立博物館
利用方法	鳥取県立博物館で利用手続きを行う (『鳥取藩政資料目録』資料番号3725)

廿一日

一 今朝の雨は、雨音、松林、千蛇、今日初、雨、

雨、雨、雨、雨、雨、

今日、雨、

佳昌院、雨、雨、雨、雨、雨、

一 雨、雨、雨、雨、雨、雨、雨、雨、雨、雨、

雨、雨、

④大谷家、村川家の鬱陵島への渡海禁止を伝える資料



No.11

幕府が大谷家、村川家の鬱陵島への渡海を禁止する通達

竹島(鬱陵島)渡海制禁の奉書(写)

1696年(元禄9年)1月28日

資料概要

幕府が、村川市兵衛、大屋(谷)甚吉に許可した鬱陵島への渡海を向後禁止したことを鳥取藩主に伝える、1696年(元禄9年)1月28日付の老中連署の奉書。

大谷、村川両家は、鬱陵島への渡海許可から70年以上、平穏に渡海を継続していたが、1692年(元禄5年)、村川家が鬱陵島に渡海すると、初めて朝鮮からの出漁者を発見した。村川家一行は漁が出来きずに帰国し、翌年、大谷家が渡海すると、その時も朝鮮人がいて漁が出来きず、その証拠として朝鮮人2名(安龍福ほか一名)を連れ帰った。この朝鮮人2名は対馬経由で送還され、これを契機として幕府は、対馬藩を窓口として朝鮮に鬱陵島への出漁禁止を求めた。

幕府は、両国民の入り交わり防止および朝鮮との友好関係尊重のため、最終的に1696年(元禄9年)1月28日付で、大谷、村川両家の鬱陵島への渡海を禁止した。その決定を鳥取藩主に伝えたものがこの奉書である。

ただし、現在の竹島については、両国民の入り交わりの問題は生じておらず、朝鮮国による領土主張も行われていなかった。

内容見本

先年松平新太郎
因州伯州領知之節
相伺之伯州米子之
町人村川市兵衛大屋
甚吉竹嶋江渡海
至于今雖致漁候
向後竹嶋江渡海之
儀制禁可申付旨
被 仰付候間可被存
其趣候 恐惶謹言
土屋相模守
正月廿八日
戸田山城守
阿部豊後守
大久保加賀守

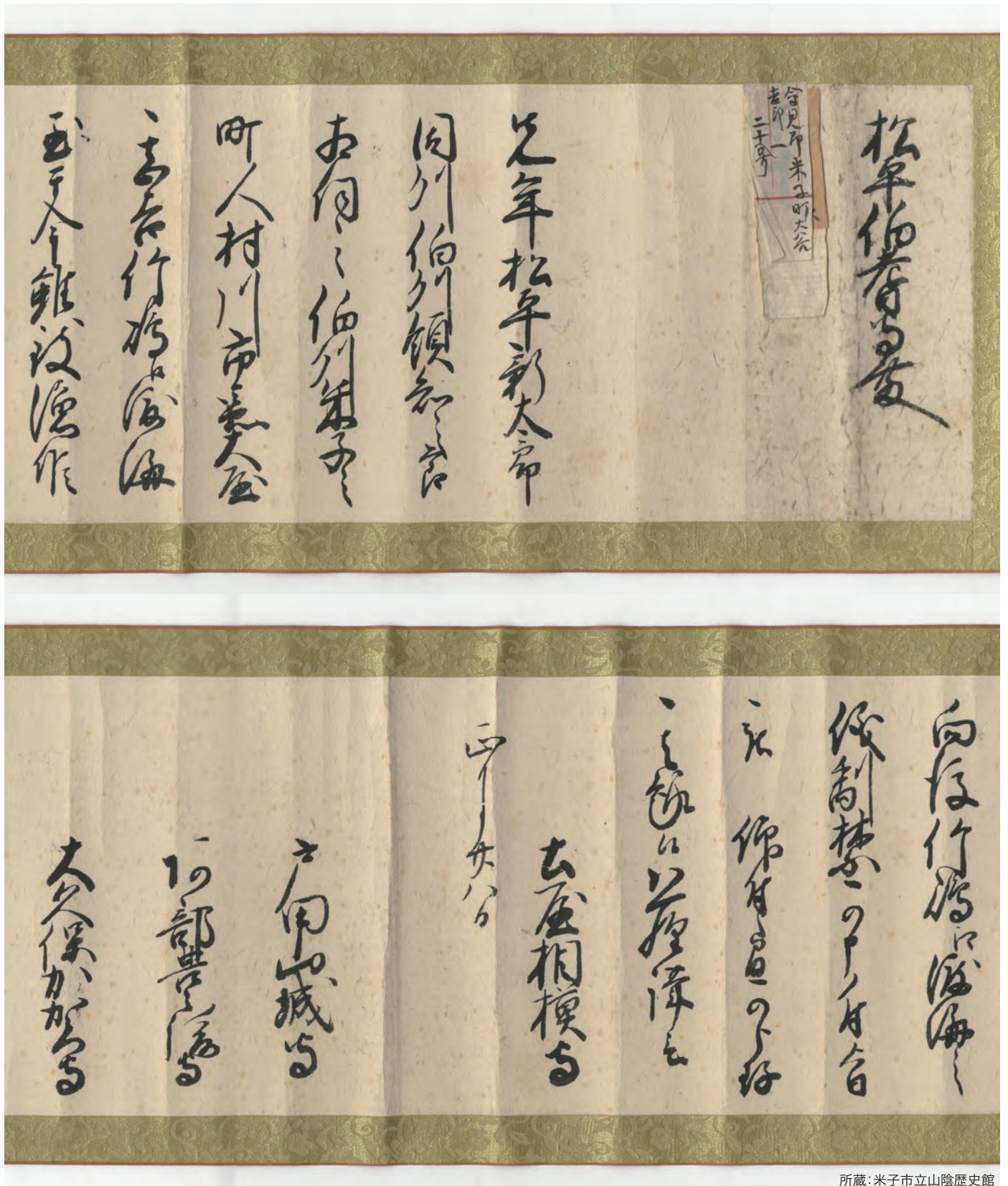
現代語訳

先年、松平新太郎が因幡国伯耆国の領主であった時、米子の町人村川市兵衛・大屋甚吉の竹島(鬱陵島)渡海につき伺いがあり、今に至るまで漁をしているといえども、向後竹島への渡海は制禁申しつけるとの上意があったので、その旨承知されたい。恐惶謹言

土屋相模守
正月二十八日 戸田山城守
阿部豊後守
大久保加賀守

作成年月日	1696年(元禄9年)1月28日
編著者	-
発行者	-
収録誌	-
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	有
所蔵機関	米子市立山陰歴史館
利用方法	米子市立山陰歴史館で利用手続きを行う

本サイトに掲載する資料等は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、調査・収集及び作成したものであり、本サイトの内容は政府の見解を表すものではありません。



竹島関係資料集 (vol.3)

江戸期の竹島の利用

竹島研究・解説サイト掲載

<https://www.cas.go.jp/ryodo/kenkyu/takeshima/>

竹島に関する資料調査及び編纂研究委員会監修

令和3年3月

※この資料集は、政府の委託事業の下で有識者の助言を得て、
調査・収集及び作成したものであり、この資料集の内容は
政府の見解を表すものではありません。

発行者：株式会社ストリームグラフ

ISBN: 978-4-911037-04-1

TEL: 03-6427-3345
